

小児科における導入事例

つるた小児科

先日、伝染性単核症の患者さんが来院されましたが、単球が高値を示していたので迅速に診断することができました。

- 使用機器：自動血球計数CRP測定装置 Pentra MS CRP
- 測定項目：CBC、CRP
- 検査件数：1～2人/日



つるた小児科

鶴田 光敏 先生

小児科 アレルギー科

Q1 1日何人くらい診察されますか？また、1日のCBCとCRPの検体数はどのくらいですか？

A1 60～100人/日ですが、季節により変動があります。3月はインフルエンザと花粉症の患者さんが多いので、1年の中でも多い月です。検体数は、多い日で、4～5検体/日、平均すると1～2検体/日です。

Q2 院内検査を導入された理由は何故ですか？

A2 抗菌剤の適正使用のためです。主に、発熱している小児が来院したときに、感染があるのか？無いのか？、感染ならばウイルス感染なのか？細菌感染なのか？を鑑別するために院内でCBCとCRPを検査しています。発熱の原因の9割はウイルス感染であり、抗菌薬を投与しても効きません。そのため、WBC数、N/L比、CRP値からウイルス感染と診断できる場合には、抗菌薬を投与しないようにしています。**院内の装置では、CBCとCRPの検査結果が約3分で分かるのでその場で感染症の診断ができ、自信をもって親御さんに説明できるようになりました。**

抗菌薬の過剰投与による腸内細菌のバランスを崩すとアレルギーになりやすくなることから、抗菌薬の適正使用は重要と考えています。

Q3 血球計数装置3分類ではなく5分類を選択されたのは何故ですか？

A3 **3分類の場合には、好中球、好酸球、好塩基球を顆粒球として測定しまうので、好酸球の測定結果を見ることができません。**アレルギー疾患の活動期の患者さんでは、好酸球の値が増加しているので、好酸球の値は見ています。例えば、咳の原因として、好酸球が上がっていればアレルギー性の咳であることが疑われます。発熱は通常であれば3日ほどで下がりますが、**5日以上継続するような患者さんの場合には、CBC+CRPを検査します。**

先日、伝染性単核症の患者さんが来院されましたが、**単球が高値を示していたので迅速に診断することができました。**この感染症は、EBウイルス感染が原因なので、CRPは高値を示しません。

院内の装置では、CBCとCRPの検査結果が約3分で分かるのでその場で感染症の診断ができ、自信をもって親御さんに説明できるようになりました。



Q4 測定結果はどのように報告されますか？

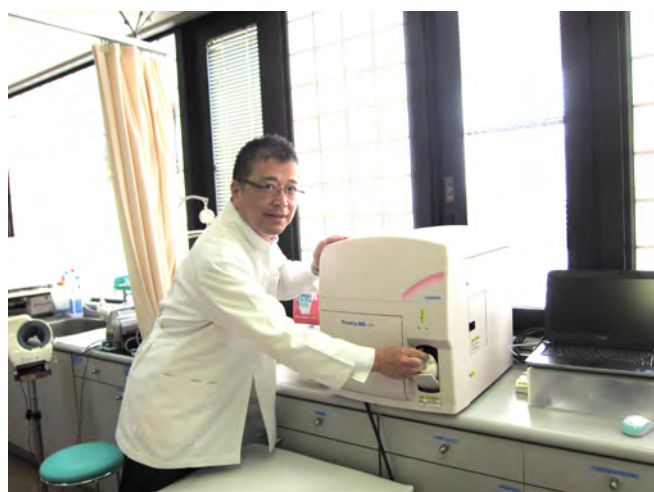
A4 測定結果は2枚印刷して、1枚は患者さんに検査結果を説明しながら渡しています。もう1枚はカルテと一緒に保管しています。

Q5 最後に、先生のモットーをお教えてください。

A5 小児の場合は、病気を治すのに、より早く、より確実に、より安全に、成人の場合には、より経済的に、が追加されます。ポイントを押さえて、早く診察することも心がけています。

【CBC】 (全血検査) 赤血球・白血球・血小板等の血液中の有形成分の数と形態を検査。全身の容態を把握することができる。

【CRP】 (C反応性蛋白) 体内で炎症がおこっている時に、血液中に増加するタンパク質。感染症等の目安になる。



施設 インフォメーション

施設名： つるた小児科
住 所： 愛知県名古屋市緑区
大高町下塩田37
電 話： 052-625-5469
診療科目： 小児科
アレルギー科



自動血球計数CRP測定装置
Pentra MS CRP

製造販売届出番号: 26B3X00002220007
一般医療機器 特定保守管理医療機器

EDTA全血[※]35 μ L、わずか約3分で白血球5分類+CRPを同時測定
※EDTA全血：抗凝固剤 (EDTA-3KもしくはEDTA-2K) を加えた全血

株式会社 堀場製作所

医用営業統括室

TEL(075)313-5736(直)

FAX(075)313-8177

e-mail: info@horiba.co.jp

http://www.horiba.co.jp

●北海道 (011) 207-1800(代)
●大阪 (06) 6390-8013(直)

●東北[仙台] (022) 308-7890(代)
●四国 (087) 867-4800(代)

●東京 (03) 6206-4719(直)
●広島 (082) 288-4433(代)

●名古屋 (052) 936-5781(代)
●九州 (092) 292-3593(代)

YMT-290